

(1) グルグルと光のウズをまいて、宙天にかがやく第二の太陽。これは、実は光を出している空中マ城であります。そこへ向ってビューゴーとヒコーキはつきすすみました。

(2) ババババーダー光にあたって二、三秒たつと、ヒコーキはもえおちてしまいました。このありさまを見ていたガンマアは、

(3) 「このままではみんなヤキおとされてしまう。よし、この上は、私がただひとりあの光の中へとびこんでやろう。全員日本へかえれー」と命令して

(4) 自分は只一機全速力で光の中へつきすすんでいきました。ビューンゴーしかしガンマアのヒコーキも火を吹いてしまします。

(5) ダダーもえおちるヒコーキからガンマアはマントをひるがえしてとびました。そして、これからガンマアはどうなったかわかりません。

(6) ただ、もえおちるのをまねかれた三機が命からがら日本へにげかったのであります。三キのヒコーキは、

(7) 司令官にこのことを知らせました。「フームすると、怪人ガンマアもやけ死んだというのだな」「はい、どうかんがえてもそうとしか思えません」と、まっつて下さい」と

(8) すすみ出たのはガンマアに助けられたことのあるマサル少年でした。マサルはこのヒコー隊にはいつていたのです。「私はガンマアが死んだとは思えません。こんどは私ひとりいつてみます」「よし、いつてみる」

(9) 司令官のユルシをえて、マサル少年は只ひとり快速ジェットキにうちのつてビューンダーと天高くあがっていきます。そのころ、

(10) 空中マ城では鉄の女王が「三機のこつてにげかえたのに、まだこりもせず、こんどは只一機でこつちへとんでくる。この一機はヒコーキごとつかまえてしまえ」といつています。さて…